

令和8年度河野小学校スクールプラン

学校の教育目標 えがお かがやく

重点目標

〈第3次南越前町教育大綱（抄）〉
人と文化を育むまちづくり～自ら学び考え行動し、ふるさとを愛する人づくりの推進～
豊かな人間性を育む教育の充実
・「生きる力」を育む学校教育の充実
・ふるさと教育の推進
・個々のニーズに応じた教育の充実

めざす児童像

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- ふるさと思いの子

めざす教師像

- 自分の強みを生かし、授業力・指導力向上に努める教師
- 児童のよさや可能性を見つけ、伸ばそうとする教師
- 教職員、家庭や地域と協働する教師
- ワークライフバランスの整った心身ともに健康な教師

1 確かな学力と探究力

～よく考える子～

- 基礎基本を徹底する授業づくりの推進
- 主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進
- 「引き出す教育」「楽しむ教育」の推進

2 安心安全で笑顔あふれる学校

～思いやりのある子～

- すべての児童が自己有用感をもつ学校づくりの推進
- 体験活動や他者と関わる活動による魅力ある学校づくりの推進
- いじめや差別のない学校づくりの推進

3 健やかな体と豊かな心

～たくましい子～

- 基本的な生活習慣の育成
- 運動が好きになる学校体育の推進
- 居心地が良いと感じられる環境づくり

4 ふるさと教育と信頼される環境づくり

～ふるさと思いの子～

- ふるさとへの愛着と誇りをもつ児童の育成
- 情報発信による学校への信頼醸成、協力推進
- 家庭・地域や外部機関との連携によるえがおかがやく児童の育成

【具体的な取り組み】

- 基礎基本を重視し、授業における指導により「わかる」「できる」を実現し、学習内容の定着を図る。
- 児童自らが探究心をもって学びを深めることができるように、課題提示・意見共有・振り返りのしかたを工夫した授業づくりを行う。
- 複数学年で学習するよさを生かし多様な見方ができる授業づくりを推進する。
- 学校生活の中で読む時間を確保し、読書習慣の定着を図る。

【数値目標】

- ・「授業がわかる」と感じている児童90%以上
- ・友達と学習することは楽しいと感じている児童90%以上
- ・学年に応じた目標（冊数・ページ数）を達成し、読書習慣を身に付けている児童80%以上

【具体的な取り組み】

- ポジティブ教育を年間計画に位置付け、すべての人権を認め、尊重し合う心や自己肯定感を育む活動を行う。
- 児童が主体的に計画や運営まで行う活動（授業・縦割り班活動・集会）を設定し、体験や人との関わりを通して居場所づくり、絆づくりを推進する。
- アンケート、観察など多様な方法でいじめや不登校の未然防止に努める。
- 児童のよさを見つけてほめる、認める学級づくりを推進する。

【数値目標】

- ・毎日の学校生活が楽しいと感じている児童90%以上
- ・いじめや差別が無く、互いに認め合っていると感じている児童90%以上
- ・自分のよさに気付き、そのよさを生活に生かそうとしている児童90%以上

【具体的な取り組み】

- お便りやチェックカードを用いて家庭と連携し、早寝早起き朝ご飯、歯磨きの生活習慣を育成する。
- 業間運動、体育的活動等を通して、楽しく体を動かしたり運動に取り組んだりする態度を育成する。
- 道徳、特別活動を中心に、みんなが気持ちよく過ごせる方法を考える場を設けたり、SO Sの出し方教育を推進したりする。
- 生活アンケートやアセスを用いて、教育相談活動の充実を図る。

【数値目標】

- ・早寝早起き朝ご飯を心がけ、毎日歯磨きをする児童90%以上
- ・体を動かすことが好きな児童90%以上
- ・みんなて協力し合ったり助け合ったりすることができる児童90%以上
- ・心配事があった時、自分で解決したり、先生、家族、友達に相談したりできる児童90%以上

【具体的な取り組み】

- 地域の人的、物的資源を活用したふるさと学習の推進と学びの発信により、ふるさとへの愛着と誇りを育成する。
- 各種たより等により学校教育に関する情報を発信する。
- 学校運営協議会やその他の外部機関と連携して、めざす児童の育成を図る。
- 家庭と連携したスマートルールの活用により、インターネット利用等の主体的な判断力育成を推進する。

【数値目標】

- ・ふるさと学習により、ふるさとがより好きになったと答える児童80%以上
- ・ふるさと学習を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育成しようとする教師90%以上
- ・各種たより等で取り組みを積極的に発信した教師80%以上
- ・親子で情報機器の使い方やスマートルールを決め、実行している児童80%以上

【研究テーマ】

主体的に学びを進めながら、自分の考えを深め、表現する児童の育成

【業務改善のための取り組み】

- ・行事や会議等の精選や効率化を推進する。
- ・ICT機器の活用等により業務の効率化を推進する。
- ・繁忙期におけるチームでの取り組みを推進する。
- ・毎週水曜日をノー残業デーとして設定する。